



文化博物館だより 第327号

2010年4月27日

みなさん、こんにちは。春季特別展『ピカソ展』も、残すところ10日ほどになりました。連休が近づき、会場にはお客様の姿がたくさん・・・みなさんが気持ちよく見られるよう携帯電話はマナーモードにしてくださいね！

● 『ピカソ展』、賑わっています！

ゴールデンウィーク直前の25日(日)。春季特別展『ピカソ展』の会場には、多くのお客様の姿が見られました。その前日には、駐車場が満杯状態で、博物館前の道路に車の列ができた時間帯もありました。お天気の良い休日となると、来館される方の数は午前・午後ともに多くなります。



列品解説の様子

お客様が多くなるといえば、イベントの日です。先日17日(土)に行った列品解説にも、多くの方々にご来場いただきました。版画作品だけを見ても、いわゆる“ピカソらしい”キュビズムの作品や写実的な作品など作品の多様性に富んでいます。それまであまり芸術作品には用いられることのなかったリノカットという技法を採用するなど、様々なことに挑戦していたことも解説の中で紹介され、ピカソの旺盛な制作意欲を感じていただけたことでしょう。

当館学芸員による列品解説は、5月1日(土)午後2時からも行われます。また、会場で行っている「ピカソ検定～5つのクイズでもっとピカソを楽しもう！！」の答合わせギャラリートークも今月29日(木・祝)午前11時と午後2時に行います。どうぞ、ご参加ください！！

● 布ぞうりづくりのご案内(5月)

日時：5月16日(日) 午前10時～午後3時

費用：300円(別途観覧料) 定員：24名

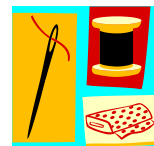
持ち物：裁縫道具(針・糸・はさみ)、昼食、ものさし、布

布は、Tシャツで3枚程度の量を裂いて持参してください

裂き方：幅5～6cm(薄い布だと8cmくらい)

×長さ60～120cmに切るか、もしくはのべ25～30mくらい

申込み：5月1日(土)午前10時より電話受付



● 十二単・鎧の着付けのご案内(5月)

日時：5月8日(土)、20日(木)、23日(日) 各 ①午後2時～ ②午後2時40分～

定員：それぞれ、十二単1名、鎧1名ずつの着付け体験ができます

対象：中学生以上(身長130cm以上、重さに耐えられること。十二単：8Kg、鎧：14Kg)

費用：観覧料のみ

申込：5月1日(土)午前9時～電話受付

服装：体験当日は、更衣室がないのでVネックなど襟元のあいた服を下に着てきてください。

ただし、袖なしのもの(キャミソールなど)は不可。

十二単の体験の方は、もしご自宅に肌襦袢があれば、持参してください。

備考：髪の毛のセット、写真撮影は行いません。撮影は、同伴者の方をお願いします。

キャンセルや遅れる場合は、ご連絡ください。



● 郷土作家シリーズ『松本雄治彫刻展』

2010年度の企画展郷土作家シリーズのご案内です。

会期：5月15日(土)～6月13日(日)

休館日：毎週月曜日

観覧料：大人 200円

大高生 150円

中小生 100円

20名以上の団体は2割引

高年手帳(65歳以上)・障害者手帳の提示で半額



《BIG MAMA》松本雄治

松本雄治は神戸生まれ。明石に実家があり学生時代のひとときを明石で過ごしました。ブロンズやテラコッタの彫刻を制作し数々の賞を受賞しています。

本展では「豊饒の女神」をテーマとし、女神をはじめ自然界の神々や、宇宙、自然などを表現した彫刻約50点をご紹介します。

ひとつ作品を紹介すると、右の写真の「BIG MAMA」は、両手を広げた女性の上に、小さな人物や動物が乗っていて、スカートは大きく膨らみ、どっしりとした安定感があります。テラコッタという粘土を焼き上げた素材で、温かみがあり、すべてを慈しみ育てる母親という印象を受けます。

松本雄治の彫刻をとおして、自然の力強いエネルギーと人間を包み込む優しさ、そして自然界に宿る神々の姿、生命の神秘などを感じていただければと思います。

お天気が良ければ、明石公園をゆっくり歩くのに良い季節です。桜が終わっても、バラやチューリップ、パンジーなど…色とりどりの花が咲き、目を楽しませてくれますよ。